



2月

国安っ子

学校だより

令和7年度 2月号

西条市立国安小学校

【学校の教育目標】仲よく、強く、明るい 国安っ子の育成

R8.1.30



国安っ子の上達法

校長 黒河 典子

国安っ子は「伸びる」を大切にしながら精進してきました。学校では、子どもの活動のほとんどが「学習」です。ですから、この「伸びる」の大部分は、「分かること（知識）」や「できるようになること（技能）」を目指したものと言えます。実際に子ども自身も「分かった！」「できた！」というとき、その達成感に大変うれしく楽しそうな表情になります。

今回は、知識を増やし、技能を磨いて力を付けるための「上達法」の基本形をお伝えしたいと思います。

第一に「願望」… 自分の力を磨き、練ろうとするとき、上手になろうとする希望を持つことです。そして、ここまでを「目標にしよう」という願いを持ち、その目標に向かって頑張ることが大切です。

第二に「実践」… 願いを持ったら、とにかく実際に試みるということです。どんな願望を抱いても、実行しなければ事を成せません。目標に向かって実行あるのみです。心を集中し、全力投球でぶつかることが、実践の要(かなめ)と言えるでしょう。

第三に「こつ」… どんな技術や学問の仕方にも「こつ」というものがあります。実は漢字では「骨」と書きます。骨は体の中心にあり、体を支える役目を果たしていることから「物事の本質」、転じて「勘所(かんどころ)」や「要領」を意味します。ただむやみに練習を繰り返すだけではなく、このこつを覚えると大変能率が上がるものです。しかも、こつを見付け、覚えるには理屈だけでは不十分です。手を、体を通してやってみなくては、こつは得られません。

第四に「継続」… どんなことでも、続けなくては身に付きません。上達もしません。「継続は力なり」とはよく言ったものです。一度にたくさん練習して、後はさっぱりやらないでいると、すぐに技が元に戻ってしまいます。少しずつでも、続けることが絶対に必要です。それには、何と言ってもねばり強さが求められます。各学年が、挑戦してきた持久走やなわとびへの取組。まさに「願望 → 実践 → こつ → 継続」を見事に貫いた国安っ子でした。時には、疲れることがあるでしょうし、気が乗らないこともあるでしょう。そのような時には、それなりの練習方法を工夫して、続けることを心掛けたいものです。

第五に「工夫」… 上記の一から四までを大切にして技を磨くとき、何の工夫もなく、機械的に繰り返すだけではあまり上達しません。いつも考えながら（思考力）、選び決めながら（判断力）、工夫して探究的に行なうことが肝要です。どうやることが、より効果的であるのか、どういう練習をすれば、もっと目標に近づけるか、自分の悪い癖や習慣は何か、どこに気を付ければそれらが直せるか、というように、常に考えながら試みることが大切です。「こつ」を覚えるにも、この工夫を怠ってはなりません。

もうお気付きのことだと思いますが、以上、ここに示した上達法は、学力や体力を伸ばすに限られたものではありません。私たちの日々の営みの中で、より良く生きるために手順や心掛けと言えるでしょう。

いよいよ学年末です。これまでの学びをまとめ、次学年に向けて締めくくる節目を迎えています。ご家庭でも、どうかこの上達法を参考にしていただき、あらゆることに学校・家庭・地域と共に全力で当たり、国安っ子の力と心を、更に伸ばしていきたいと考えています。

1月20日（火）に1・2年生が昔の遊びを体験しました。地域の国安地区老人クラブ連合会の方が参加してくださいり、けん玉、あやとり、お手玉、めんこ、こま回しなどで交流しました。

昔の遊び



2月の おしゃせ

- 2/4(水) 新入学児童一日入学
- 2/12(木) 全校5時間授業
- 2/18(水) 参観日・学級PTA活動・学校運営協議会
- 3/5(木) 6年生ありがとう集会・遠足
(2月27日金)から変更しました。)

